

民医連厚生事業協

共済だより

2021年
11月
第163号

発行所●全日本民医連厚生事業協同組合

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター6F
TEL03-5842-5650 FAX03-5842-5652
E-メール:k-tayori@min-iren.gr.jp
(共済だより用)
kyousai@min-iren.gr.jp
(厚生事業協宛)
ホームページ:https://min-jigyo.or.jp



いわさきちひろ
「枯れ葉のなかの少年」1969年
(14ページに作品のコメントと美術館のご案内をしております)

主な記事

- 各地の共済企画 青森／島根
- 伝えていきたい私の民医連^⑬ 元全日本民医連事務局次長 川口 貞勝(下)
- シリーズ なぜ、日本の医療・保健・防災・教育体制は壊されたのか^③／東京都立大学・宮下与兵衛
- いま、沖縄に連帯して 1年ぶりの集会での決意
- いま、なぜ憲法改悪なのか パートII^⑨ 若手弁護士の会
- 縮図からみる世界^④ 大した事件ではなかったからこそ、かえってそう感じ／斎藤 貴男
- 私の趣味・こだわり紹介^⑨ リボベジのススメ／愛知・ペンネーム づか

2021年度
スポーツ文化企画
のお知らせ

<https://www.min-jigyo.or.jp>



ログイン 2021
パスワード 1192
(半角数字)

携帯電話でご応募の方は
こちらからどうぞ
応募先のメールアドレスが
読みとれます



※後期慰労金の現況報告書を9月下旬に発送しました。届いていない方はご連絡ください(03-3814-5044)。
受付期間は10・11月です。しめきりは11月30日必着です。

なぜ、日本の医療・保健・防災・教育体制は壊されたのか

5 なぜ、生活が苦しいのか

新自由主義による「貧困と格差」国家へ

新自由主義政策（小泉・竹中構造改革から始まる）によって福祉・教育費は削減され、軍事費のみ増えました。第二次安倍政権の7年間で、社会保障費は4・3兆円削減、年金支給額は2兆円削減されました。

また国保料が払えずに2018年度に滞納していた世帯は269万世帯（15%）で、そのうち34%の92万世帯が国保証を取り上げられていて（厚生省調査資料より）、病院にかかれずに命と健康を脅かされているのです。さらに今度は75歳以上の医療費の負担を2倍に引き上げました。

貧困家庭が急増していて、生活保護受給者は2018年には210万人（受給世帯数は163万世帯。政府が生活保護基準を引き下げたあとの2016年でも、生活保護受給資格があるのに受給していない世帯は385万世帯もある）を超えており、

戦後最も少なかった1995年は88万2229人でしたが、それ以降の新自由主義による構造改革とアベノミクスで貧困と格差が顕著となりました。

特に、母子家庭などの一人親家庭の貧困率は50・8%（2016年）と大変高いのです。生活保護を受けていた家庭では、子どもの4割が成人後に生活保護を受けている（厚生労働省資料）という貧困の連鎖があります。

日本には約3300万人の65歳以上の高齢者がいますが、うち約700万人（22%）が貧困状態にあります。それは「生活保護基準相当で暮らす高齢者およびその恐れがある高齢者」を指し、一人暮らしでは税引後の所得ベースで年間122万円、2人暮らしだと170万円という金額が貧困ラインです。その一人暮らし高齢者600万人のうちの2人に



東京都立大学
宮下与兵衛

1人が貧困状態とされています。一人暮らし高齢者の生活保護の捕捉率（実際に受けている人の率）はわずか2割で、あとの8割は世間のバッシングを恐れて生活保護を受けていないのです。（老人に冷たい国・日本」光文社新書）

東京都区内の格差（2019年）を見ると、一番平均所得の低い区は足立区で346万円、続いて葛飾区・江戸川区と続き、江戸川区が367万円、みな下町の区が続きます。公立中学生の就学援助率も、足立区の46・6%をトップに、荒川区（42・6%）、墨田区（43・6%）、江東区（40・9%）、板橋区（43・7%）となっています。

一方の平均所得の高い区は1位が六本木ヒルズのある富裕層が多い港

区で1217万円（2013年は980万円から）、千代田区1081万円と続きます。港区と足立区の差は871万円、これが日本の格差社会の実態であり、アベノミクスでどんどん格差が開きました。日本の富裕層は127万世帯で資産は299兆円（5億円以上は8・4万世帯、1億から5億円未満世帯は118・3万世帯）で、安倍政権下の7年間で128兆円、1年で7・5兆円増加しています（野村総研2018年12月発表）。自民党政府は「アベノミクスは良かった」としていますが、確かに大企業や富裕層には良かったのですが、国民にとってはこの25年間OECD主要13カ国で日本だけが名目賃金上昇率はマイナスで、実質賃金は22万円も減少しているのです。

自民党の総裁になった岸田さんは「新自由主義政策を転換する」と述べましたが、「アベノミクスを継承する」と主張する高市氏を政調会長にしておいてできると思えません。今度の総選挙は自民党の新自由主義政策を真に転換して、国民にとって「幸福な国」にできるかどうか選ぶ選挙になります。

1. 「平和のうちに生きる」とは

…専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する…。

日本国憲法前文で宣言される「平和的生存権」は、日本国憲法の軸の一つ「平和主義」をうたう大切な規定ですが、「恐怖と欠乏」つまりあらゆる暴力と貧困がなくなれば「平和」ではない（戦争がなければ平和、というわけではない）と考えている点に注目しましょう。差別や貧困、あらゆる暴力による支配は、人から平穏と自由を奪い、「人間らしさ」「その人らしさ」を失わせます。

つまり、戦争放棄と戦力不保持へ向けて努力する一方で、社会の中からあらゆる差別や貧困、あらゆる暴力による支配をなくさなければ「平和」は訪れません。それを人権という形で国に義務を負わせたのが、社会権の規定といえます。

2. 非戦のための社会権保障

人間らしく、1日3回の食事をとり、

シリーズ

いま、なぜ憲法改悪なのか パートII

94 コロナ禍で確認したい平和的生存権 ～平和のうちに生きる、とは？～



「明日の自由を守る若手弁護士の会」共同代表 黒澤いつき
公式ブログ <https://www.asuno-jiyuu.com/>

働き、休み、笑い、十分に寝る。何にも怯えることなく、自分はここにいる、という安心できる居場所で生きる。あらゆる恐怖と欠乏からなんとか逃れることができる生活というのは、生存権（25条）が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」と非常に似て、つながっている、といえます。

また、外部からはわかりづらい、家庭の中での暴力を、憲法は忘れません。24条後半「…家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。」

24条は、夫婦間や親子間、家族の中での支配関係を否定し、だれもが平等で、尊厳ある個人だと宣言します。夫からのDVやモラハラ、親からの虐待に苦しむ女性や子どもを保護し、暴力をふるう夫・親に依存しなくても生きていけるようサポートすることが国の使命だとうたいます。

子どもの「教育を受ける権利」（26条）は、暴力を用いない知恵、貧困や暴力による支配から抜け出せられる（自律した生活を送る上で必要な）知恵を得るために保障されています。

暴力や貧困に怯える必要のない生活を維持するためには、収入が必要であ

る上に、心身に良好な、暴力とは無縁の労働環境が整っている必要があります。だから憲法は、人間らしく働ける環境や条件を求める人権を、27条や28条で保障しています。

政治がこれら社会権をしっかり保障して、だれもが「恐怖と欠乏」に怯えることのない生活を送ることを、平和的生存権は要求します。なかんずく24条は、家庭内から暴力・虐待を根絶しなければ、個人の尊厳も平等も絵に描いた餅であることを明確に打ち出している、9条とともに非暴力・非戦の国家を作りあげる上での重要な規定であることを、ぜひ知って下さい。

3. 平和のうちに生きるための政治

この原稿を書いている時点では総選挙の結果はわかりません。しかし補償が足りず、収入がなくなり、貧困に苦しむ人は数多くいます。いざという時に、病院も保健所も圧倒的に足りない脆弱な医療インフラの実態は、誰もが知るところとなりました。児童相談所や性暴力被害者のための女性センター、労基署も軒並みスタッフ不足と予算不足で、「平和のうちに生きる」ことが難しい社会です。そんな社会を憲法に近づけるための努力を、政治に求めましょう。

縮図からみる世界【42】

齋藤 貴男



大した「事件」ではなかったからこそ、かえってそう感じ

今という時代がつくづくわからない。大した「事件」ではなかったからこそ、かえってそう感じた。

プロ野球読売ジャイアンツの北村拓己内野手をご存じだろうか。この入団4年目の、パワフルな打撃に定評がある有望株の言動が大炎上し、2軍降格の懲罰人事に発展した。聞きかじって気になり、調べてみて驚いた。

8月5日、甲子園球場での対阪神タイガース戦だった。試合前に組まれた円陣で、声出し役になった北村がナインに激を飛ばす様子が、球団のツイッターで公開された。

「相手ピッチャーは藤浪（晋太郎）さんです。（ボールを体に）当てられる前に、しっかりとバットに当てて、初回からエンジン全開で行きましょう！」

かつてのエース・藤浪は、球は速いがコントロールに難があり、ここ数年、低迷が続いている。この点を揶揄した北村の言葉に、私は何らの違和感も覚えなかった。敵の弱点をヤジリ倒すのは野球の常だし、ネットで流れていた動画も見たが、彼の音頭には嫌味がなく、仲間内では通じないはずのないユーモアさえ感じたからだった。

世間や球団の反応は違った。北村発言には相

手投手へのリスクペクトが微塵みじんもないという。前日にホームランを放ち、この日も第一子誕生の連絡を受けたばかりで「幸せの絶頂にいた」北村だから、「有頂天になり過ぎたのでは」と解説しているニュースサイトも見つけた。

二軍落ちは長くは続かず、北村はやがて一軍に復帰したが、降格前の輝きにはほど遠い。万が一にも、こんなことで伸び悩んでしまう結果が導かれるのだとしたら、あまりにくだらないと、私には思えてならないのだ。

前後して、日本ハムファイターズの主砲だった中田翔選手が同僚に暴力を振るって出場停止になったり、ヤクルトスワローズの田口麗斗投手が三振を取った際の過剰なガッツポーズは「敬意を欠いていた」と反省を示した、などという報には同調できた。だが、北村の炎上はどうしても理解できないままでいる。

一方ではネット上の人格攻撃や差別そのものの誹謗中傷まかが罷り通る時代。極端な価値基準が是とされる潮流から少しずつ、否、かなりズレてきている自分がわかる。だからって、取り残されたくないからといって、何もかもを時代のほうに合わせなければとも思わない。

還暦から3年半が経った。何を合わせて、どこは合わさないか。これからの生き方の課題だ。

齋藤 貴男（さいとう たかお）

1958年東京生まれ。早稲田大学商学部卒。英国パーミンガム大学大学院修了。主な著書に『機会不平等』『国民のしつけ方』『戦争経済大国』『驕る権力、煽るメディア』『決定版 消費税のカラクリ』『いちばんたいせつなもの』など。

